

人生100年時代、高齢者の出番

2022. 9. 26

さわやか福祉財団会長
堀 田 力

1. 夢を持って、人間性を最優先する社会を目指そう
2. 地域共生社会こそが、日本の活力をとりもどす道
3. 地域共生社会をつくるのは、住民主体の助け合い活動

現代資本主義社会の欠点を是正する唯一の方策は すべての人の人間性の尊重を最優先する社会の創設

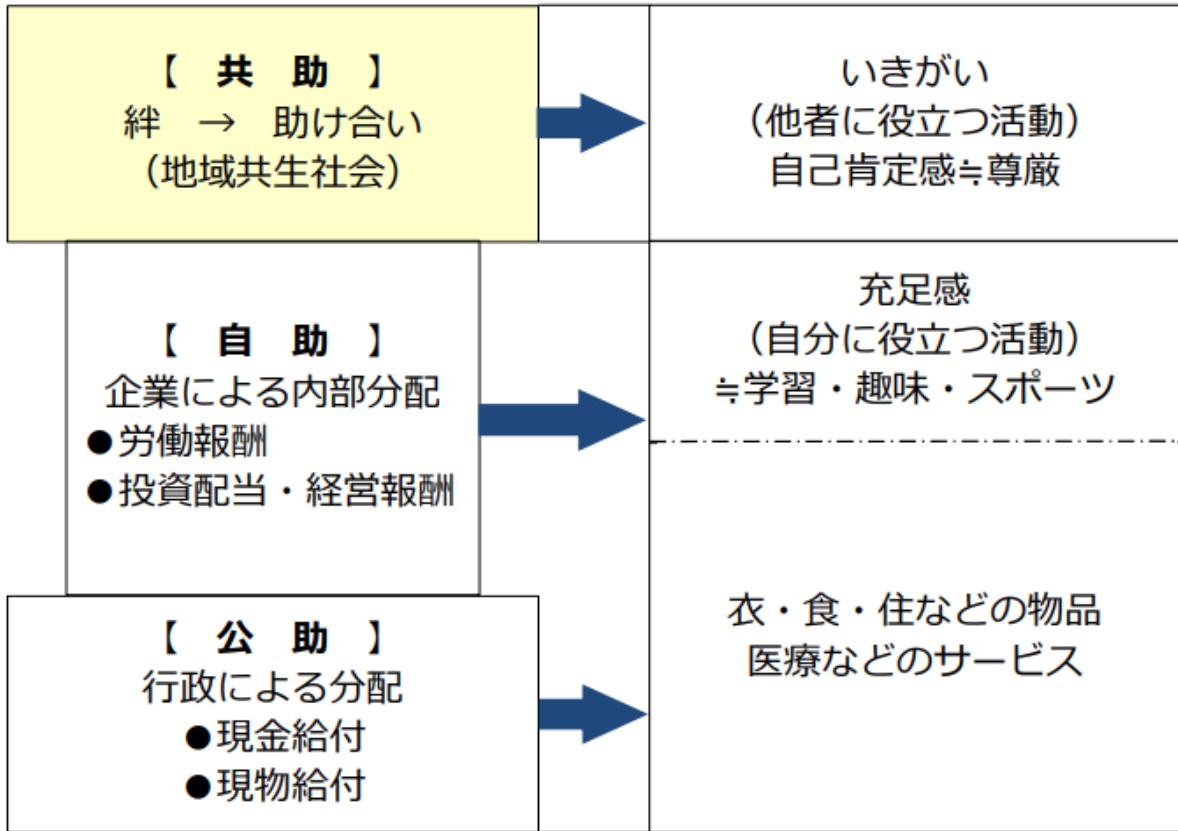
項目	欠点	原因	長所	是正方策
お金 (資本主義)	格差→活力喪失 →人間性無視	<ul style="list-style-type: none"> 資本・経営重視 モノ重視 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な働く場の提供 効率的生産 開発インセンティブ 	<ul style="list-style-type: none"> 人間性優先 適切な分配 フラットな経営
-----> 自然	環境の劣化・自然災害の増大	利潤獲得目的の自然破壊	人間の存在を支える基礎	自然存在の中の人間(人間性)の自覚
-> 機械文明	不適合者切り捨て	利潤追求	人間生活を支える方向へコントロール可能	すべての人の生活を支える機械(人間優先)の思想の徹底
---> 人の心	差別・無視、各種ハラメント	競争過多社会から生まれる利己主義・自己優越感・劣等感	柔軟な適応性・他者理解	人間愛、自尊他尊感情
民間 非営利活動	インセンティブの弱さ	<ul style="list-style-type: none"> 利潤を目的とせず 理念による牽引力の弱さ 	<ul style="list-style-type: none"> 自己有用感を生み出す 柔軟なニーズ対応力 	人生100年時代における高齢者の人生にぴったり!!
行政の活動	画一主義・縦割	<ul style="list-style-type: none"> 法令準拠主義 公平原則 予算・権限による拘束 	基礎的給付・サービスの着実な実施	<ul style="list-style-type: none"> 民間非営利活動との連携強化 重層的・包括的事業の実施

すべての人の人間性が開花する社会をどうつくるか

〈民間非営利活動〉
・
〈民間営利活動〉
・
〈行政〉

すべての人の幸せの基礎

すべての人の幸せ



〈精神的満足〉
・
〈生理的満足〉

地域共生社会＝人間開花社会のコミュニティ (これまでのコミュニティをどう転換するか)

事項	農耕・身分社会	工業・資産優越社会	情報・人間開花社会 (目指すコミュニティ)
格差と助け合い	社会的身分及び家父長制による差別はあったが、社会的身分が同じ層の間では、助け合いがあった。	社会的身分は廃止されたが、所有資産による事実上の格差が広がり、個人間の競争が激化して、助け合いが希薄になった。	すべての人が個人として尊重され、助け合いが当然のように行われている。
特記事項	士と農工商間の格差が大きかった。	農村部では前の社会の特徴が残っていた。	
コミュニティの連携、一体性を維持できる領域	藩(領主の支配領域)	国	国から国の連携体(EU等)へ、最終的には世界政府へ
たてまえとしての価値感	義理と人情	自由と平等	多様性の尊重
自由の束縛	武士層による制裁、村八分家父長の判断による束縛	法の支配、社会的差別(私的攻撃)、初期段階では家父の判断による束縛	法による禁止行為以外の多様な行為が自由(多様な行為を可能な限り受け止めるコミュニティになっている)